

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス あある		公表日 2025年3月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	①稀に狭いときがある。 ②建物の問題で部屋が多く死角が多いので随時ラウンドし、職員と情報共有している。 ③スペースが狭い。	利用人数によって席の配置を考え、パーソナルスペースを確保できるように工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	①職員数が足りない日は少ない方 ②建物の問題で事業所が2階にあるため、利用者様が階段を使うときは職員が付く。③日によって不足。④時に人で不足。	人員基準以上の職員の配置はしています。ただし活動内容や職員の立ち位置なども打合せをして、利用人数が多い時の支援の仕方も見直しながら取り組んでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	①掃除をしている。 ②一般賃貸契約をしている住民がいるので活動内容に制限がでる。	外階段があるので、昇り降りする時は方を一を考えて1人ずつ使用するように職員が声掛け、見守りながら行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	①受け入れ前後で清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		日々振り返りを行い、その日の気になったところを共有し、改善する方法を考え翌日に活かせるようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		保護者からのアンケートをまとめて、職員全員で共有して課題を洗い出し、改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		職員会議等で意見交換をして、業務改善につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		今後第三者評価を入れるかどうかについても検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	①強度行動障害研修済み。 ②連絡協議会や、法人内研修を受けている。	施設内の研修やひらぎ大学の他に草加市や足立区の研修にも参加し、職員のスキルアップを目指していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	①必要に応じて確認できるよう適切に保存されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		利用開始時は勿論、半年に一度の個別支援計画書の更新時にモニタリングを行い、ニーズや課題の見直ししている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	①月1度、全体会議を行う+日々の振り返り	個別支援計画を元に週替わりでの活動を行っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		標準化されたアセスメントシートを活用しているが、今後は自社開発アプリによるアセスメントツールの使用も検討している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	①月1回の会議を開催し、翌月のプログラムを立案する。	作業活動・SSTを週ごとに行うために、会議や打合せで職員全員で計画を立てている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		実際に活動をやってみて、「次はこんな方法でやってみよう」という提案を出し合いながら考えている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス あある		2025年3月14日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	①集団活動がメインになりがち（どんなときでも）	基本は集団活動としているが、その日の状態によって子どもと職員が相談して個別活動で過ごす場合もある。情緒のコントロールを課題としている子は、特に集団活動に参加できるよりも、自分の状態を理解し落ち着いて過ごす方法を知る事を大切に支援している。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	①たまに後から知るときがある。	毎日必ず打合せをして、その日を分担を表に記して分かりやすくしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	①毎日実施している。	毎日振り返りを実施している。その日の活動について、良い点と改善すべき点を話し合って議事録を作り共有している。子どもについても、良い変化と気になった点を共有して、次回利用時の支援に活かせるようにしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	①日々の振り返りを記録し共有している。	日々の様子は経過記録に記しているが、振り返りの時に話し合っ共有している。振り返りで出た意見はノートに記して、全職員が確認できるようにしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		毎月1回会議を行い、それぞれの支援目標に対しての現状を確認して支援方法を見直している。個別支援計画書は半年に1回、保護者と面談をして目標の見直しをして、職員との策定会議後に更新している。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	①自立のための支援と日常生活充実の為の活動、創作活動、地域交流の機械の提供、余暇の提供	基本活動を複数組み合わせを行っているが、パート職員はガイドラインを理解していない者もいるので、ガイドラインについての勉強会も行っていきたい。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		こどもが進んで活動に取り組めるような予定や声掛けを行なっている。無理やり活動に参加させるようなことは行っていない。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		担当者会議には、管理者・児童発達支援管理責任者が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		年間計画や下校時間は、学校との共有ではなく保護者様に教えてもらっている。またはホームページで確認している。変わった様子があった時は担任の先生に電話をして、情報共有させてもらっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		利用対象が中高生の就労準備型デイのため、児童発達支援事業所との連携がありません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		同じグループの生活介護や就労支援継続B型へ移行する場合は会議を行い情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		研修でお話を聞くことはありましたが、今まで専門機関と連携して直接助言をいただくことは無かった。今後機会があれば連携してみたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	①文化会館での音楽会	今年度は足立で行われたこらほシティというイベントを地域の中学生と一緒に作りあげた。地域のイベント（こんぼーちゃん、ぶんこ食堂）などお手伝いとして参加して地域の大学生や高校生、他事業所の方との交流を行っている。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	①自分は参加していないが、会社が参加している。	研修も実施してくれている機関のため、毎年必ず加盟して研修等も利用している。連絡会においては事業所として役員も担当している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	①ミライダイアリーや面談を通して情報共有をしている。	ご利用時には、みらいダイアリーで活動の様子などを写真付きでお知らせしている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス あある		公表日 2025年3月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		基本は保護者から質問やアドバイスを求められた時にお応えしている。面談が必要な場合は適宜行っている。 今後は保護者様同士の情報共有の機会や、保護者向けの研修会もできたらと考えている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		契約時に丁寧に説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		子どもや保護者からアセスメントを行なって支援計画を作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		必ず説明し、保護者からの同意を得ている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		面談時には勿論、みらいダイアリーでもやり取りをしている。 必要に応じて電話で面談することもある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		今年度の保護者会は開催しませんでした。地域のイベントへの出店をあるで行なっているので適宜情報を公開している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		できる限り問題などがあつた際に速やかに対応できるよう事業所としての態勢は整えているため、引き続き真摯に対応したい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	①ミライダイアリーを活用し情報発信に努めている。	今年度は半年に一度活動報告を配布し、イベントのお知らせなどは電子媒体の利用や紙での配布を行った。またその様子を電子媒体のアルバム機能を利用しお知らせした。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		個人情報の誓約書等は従業員にも取っており、職務違反となるような行為の無いよう、日頃からルールを設けるなどして取り扱いには注意をしている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		一人ひとりに寄り添った支援を考え、伝え方も配慮している。 引き続きそれぞれの理解を確認しながら伝えるように努めていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		地域の方々に協力を得てイベントの開催やお手伝いをさせていただいている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に防災訓練を実施。	毎月1回の避難訓練は行っている。マニュアルの周知は行ない目に見える場所への収納をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		BCPを策定し年2回以上、消防署に避難訓練の届出をして訓練を行っている。 地震・火事・水害など様々な状況を想定して、月一回の避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	①個人的には把握していない。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		現在は対象者がいないが、今後アレルギーの対応が必要な場合には、医師の指示書または保護者様からの情報協力のもとに、万全の対応ができるように整えていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		ヒヤリハットを積極的に提出するようにして、会議で共有している。リスクマネジメントの研修を適宜行い、事故防止に努めていく。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月14日			
放課後等デイサービス あある					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		年1回全職員が参加する虐待防止研修を社内で行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		現在は身体拘束の必要がある児童がいないが、今後必要な場合が考えられる場合は、保護者様と面談を行い個別支援計画書を更新して同意を得るようにする。